

【授業科目】法学（日本国憲法を含む）

担当教員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	オフィスアワー	教職員への授業公開
川村 隆子	1年次後期	選択	2	30	講義	巻末掲載	可
授業概要 (内容と進め方)	<p>授業概要／私達の生活において、法は欠かせないものである。 本講義では、法の基本的な成り立ち等を説明した上で、社会生活上の様々なルール（法・規則）だけでなく専門家として必要な法の意識、責任を持つため、なるべく医療従事者しゃに関わる事例を多く交えて講義を行っていく。 課題に対するフィードバック方法／毎回ではないが、一つの単元が終了するごとに、その単元ごとに生じている問題意識を示し、それらについて意見を述べ、提出してもらう。</p>						
授業の位置づけ	<p>本学のディプロマ・ポリシー⑤「将来に向け臨床検査を主体的に学び、臨床検査の専門職としてのキャリアを伸ばせる能力を持つことができる。」の達成に寄与している。</p>						
到達目標 (履修者が到達すべき目標)	<p>①法の基本的な成り立ちの理解できる。 ②身の回りに関わる様々なルール見つけ、関連ある情報収集ができる。 ③法的思考（リーガル・マインド）を養う。 ④医療に従事する有資格者としての社会的責任の法的責任の重大性を認識する。</p>						
時間外学習に必要な学修内容および学習上の助言	<p>毎授業計画に従い前学習：指定の教科書を事前に読んでおく（各30分以上） 第3・4回事後学習：各自、授業で取り上げた人権について新聞等のコラムを探し、考えておく。（各30分以上） 第5～8回事後学習：生活上の身近な契約について考え、生活を送ってみる（60分以上） 第9～12回事後学習：自分の家族も踏まえ、家族のあり方について考える（各30分以上） 第13～14回事後学習：働く現場のあり方について考える（各30分以上） その他に、講義で学んだことを振り返るための宿題を課すことがある。 ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（2単位15回科目の場合：予習+復習4時間/1回）（1単位15回科目の場合：予習+復習1時間/1回）（1単位8回科目の場合：予習+復習4時間/1回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。</p>						
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション・・・「法」とは何か？ 第2回 法の成り立ちと裁判・・・① 法と道徳 ② 法の分類と解釈 ③ 訴訟制度 第3回 日本国憲法・・・① 幸福追求権（自己決定権）② 信教の自由 第4回 日本国憲法・・・① 新しい人権（プライバシー権など）②生存権 障害者に関する法律（精神、身体、知的等） 第5回 生活の中の法・・・① 売買契約・貸借契約（不動産の賃貸借） 第6回 生活の中の法・・・① 保証債務と連帯債務 ② 自己破産 医療契約に関する法律（社会保険法、医療法他） 第7回 家族と法・・・① 結婚と離婚と内縁 第8回 家族と法・・・① 親子関係（実子・養子、体外受精と代理母） 第9回 家族と法・・・① 母子関係法規（母体保護法、母子保健法、児童福祉法他） 第10回 家族と法・・・① 親権と扶養、高齢者に関する法律（介護保険法他） 第11回 家族と法・・・① 相続と遺言 第12回 労働と社会保障に関わる法・・・① 労働契約（労働基準法、労働安全衛生法他） 第13回 労働と社会保障に関わる法・・・① 子育て支援と法（育児介護休業法他） 第14回 租税法・・・① 納税の義務 ② 税の種類 第15回 総括</p>						全て川村
評価方法 評価基準	<p>受講態度及び・集中度50％・・・授業に対して集中して取り組み、積極的に参加しているか 期末試験50％</p>						
教科書	小川富之 川村隆子 藤野奈津子 編 『ロードマップ法学』一学舎			参考書等	なし		
学生へのメッセージ	<p>「法」は、家族という最も小さな社会のルールを示すことをはじめ、さまざまな特殊専門分野のルールをも示す役割を担っています。社会人として、また、医療従事者として社会で責務を担っていく上で不可欠な「法」について、少しでも興味もてるよう、工夫して講義を進めていきたいと思ひます。 なお、将来の責務の重大性から授業中の居眠りや私語、内職はもちろん飲食、携帯電話の操作等、授業中に適切でない行為を禁止します。これらを遵守しない場合は受講を遠慮して頂きますので、その旨、了解の上、履修登録を行ってください。</p>						